

Joint Seminar

コロナ危機と 自民党政権



パク・チョルヒ
朴 喆熙
ソウル大学 教授

対談者

内山 融
東京大学 教授



モデレーター **中島 隆博**
東京大学 教授・東アジア藝文書院 院長

【日時】

2020 年 10 月 6 日 (火)
17:30~19:00

【参加方法】 <https://forms.gle/zGU53EFQrdKDeQsZA>



本セミナーへの出席を希望される方は、上記のフォームからお申し込みください。前日までに ZOOM リンクをお送りいたします。ただし、諸般の事情により御希望に添えないこともありますので、あらかじめ御了承ください。



Global Studies Initiative
The University of Tokyo



東アジア藝文書院

本セミナーは2019年7月開催された IAGS・EAA 共催セミナー「自民党政権の現在と今後」の続編として、コロナ危機の中、「自民党政権」の変容と対応について検討することを目的とします。

2012年の政権交代後、安倍首相の下で自民党政権は「一強」と呼ばれる状態が続けられており、安倍首相は2020年8月24日で連続在職日数が憲政史上最長を誇るほどとなりました。しかし一方で、「モリカケ問題」や「桜を見る会」のような権力の私物化問題が浮上したり、コロナ危機下では「アベノマスク」や「Go-to キャンペーン」のような対応が批判されたりしており、政権維持の動力を失いつつある側面も露呈しています。（そして本会の企画中であった8月28日に、安倍首相は辞任を表明し、政局はもう一度嵐をはらんだ情勢になっています。）

この時点で再び日本政治を専門とするパク・チョルヒ教授と内山融教授をお招き、中島隆博教授の司会で「コロナ危機と自民党政権」の現状と今後についてお話をいただきます。ご関心のあるみなさま奮ってご参加ください。